

新しい海浜病院はどうなる？

2025年開院予定の新病院(美浜区・県立幕張総合高校の東側)について、計画づくりがおこなわれています。病気やけがで不安な気持ちの患者が、落ち着いて治療を受けられる環境は重要です。そこで、「ボランティアの受け入れ」「図書の実室」「作品展示や草花の鑑賞スペース」「ミニコンサートなどの交流スペース」「コンビニなどの利便施設の設置」「小児患者への付き添い」「オンライン環境の整備による面会」「院内学級の充実」について質問し、今後の方向性について要望をおこないました。



太陽光パネルの設置にルールを

太陽光発電はCO2を出さない、身近な自然エネルギーとして各地で導入がすすんでいます。ところが、住宅の目の前に突然設置されるなどの問題が生じています。

太陽光発電事業の実施にあたっては、「工事の安全性や環境に関する懸念について、住民の理解を得る必要があります。事業者が丁寧な説明を行うことにより、地域との信頼関係を構築することが重要」と市も認識しています。2018年に条例をつかった神戸市にならって、太陽光発電施設の設置に関する条例の制定を求めました。



入札情報の公開を

市では原則、予定価格100万円以上の案件について、事前に委託の概要などを公表し、入札参加者を募る希望型指名競争入札を導入しています。ところが、局によっては、公募の案件のみホームページで公表し、それ以外のは窓口での閲覧とのこと。情報が広く市民の目に触れることはありません。

1,000万円を超えるなど、発注予定価格が大きい入札は、随意契約、指名競争入札であっても、ホームページでその結果と理由を公表し、市民に対して、広く市の考え方を示すよう検討を求めました。

公立夜間中学のあり方は市民参加で

市立の夜間中学を、2023年4月に真砂中学校分校として美浜区に開設することになりました。2022年4月に公立夜間中学を開校する札幌市教育委員会は、昨年、検討委員会を設置し、その議論を受けて本年3月に「札幌市公立夜間中学設置基本計画」を発表しています。

千葉市でも札幌市にならって市民が参加する「協議会」を設置して課題を議論し、学習内容から給食の提供や図書の貸し出しといった教育環境にいたるまで、広く意見交換する場を設けるよう要望しました。



山田京子
松井かよ子

行政に現状や今後の見通しを問う

一般質問

まちなかベンチの設置は市民参加で

千葉市は2019年4月にベンチ設置計画を発表し、今年3月末までに、駅前広場のバス停ベンチのうち設置可能な71カ所の設置が終わっています。千葉駅などで、ご覧になったのではないのでしょうか(写真)。



次のステップとして、駅と公共施設などを結ぶ生活関連経路上のベンチを設置し始めています。2026年度末までに計365基をめざしているとのこと。

しかし、これらについては、市民の声を聞く機会を作らずに進めており、本当に使う立場の視点から置かれているのか疑問です。

今後は、地元の声、例えば自治会や社会福祉協議会地区部会、公募市民によるワークショップなどを通じて、地域住民のニーズに沿った設置となるよう求めました。

縮小を迫られる社会教育施設の今後

若葉区では、若葉図書館と千城台公民館の千城台南小学校跡地への移転が決まり、花見川区では、老朽化した花見川図書館とこてはし台公民館の複合化が予定されています。少子超高齢化、人口減少の時代にあり、税収が減ることから、公共施設の再整備にあたって縮小は必須ということです。

私たちは、子や孫の世代に過重な負担を押しつたくはありません。従って、その方針はある程度の理解はできるものの、市民の力を育む社会教育の場はただいたずらに縮小して良いわけではありません。

全体を見て、何を減らし、何は残すのかを「市民と一緒に」考えるべきではないでしょうか。市はもっと早い段階で情報を公開して、共に市の将来を考える機会を積極的に作るべき、と訴えました。

障がいがあっても無くても一緒にあ・そ・ぼ〜「インクルーシブ公園」を千葉市にも!

昨年3月、世田谷区の砧公園に「みんなのひろば」ができました。障がいがあっても無くても一緒に遊べる遊具(写真)を備えた、いわゆる「インクルーシブ公園」です。



どんな子どもでも遊びを楽しむ権利をもっており、成長過程に、色々な子ども同士の繋がりは欠かせません。

千葉市にもぜひほしいと思い、障がいがあるお子さんのママさんたちからの聞き取りをして、願いを質問の形で市に届けました。

市は利用者のニーズ調査や先行した他都市の公園の現地調査に取り組むとの答弁でした。

予算が付いて、遊具が置かれればそれで充分とはいえません。当事者や地域の人たちが共に公園の計画を作り上げていく過程を大切に、完成後も、地域の人たちと共に育てていく公園になるよう、市と市民を繋げていきたいと思ひます。



ペーパーレス化 少しずつ進む

千葉市議会では、各議員がタブレット端末やパソコンでデータを閲覧し、できるだけ紙の資料配布を減らすことに取り組んでいます。今議会では、議案の説明資料をできるだけ画面上で見ることになりました。

ところが、説明を聞きながらメモを取る時、紙の方が便利と思う人もいることがわかりました。普段のパソコン使用頻度も人それぞれなので、ゆっくりでも50人皆で足並みをそろえてゴールを目指せたらと思います。(岩崎)

電磁波は目には見えませんが、私たちの身体に様々な影響を与えているといわれています。そこで、NPO法人市民科学研究室の上田昌文さんと一緒に、身近な場所の電磁波測定をしてみました。このたび、その結果について詳しくお話を聞く会を開きます。下記までお申し込みください。(ZOOM併用・参加費無料)

日時 8月2日(月) 14時~16時
場所 市民ネットワーク千葉 中央区中央4-10-11 アイビル4階

電磁波調査 報告会へのお誘い



議員とお話しませんか 市民と議員の意見交換会

日時: 8月23日(月)
10時半~12時
場所: 千葉市議会1階
応接室にて

*感染症対策のため、マスクをつけてご参加ください
*事前にお申し込みください